

議会だより

ワットサム

※「ワットサム」とはアイヌ語でワット（これの木）・サム（傍）という意味で、わっさむの由来です。

第121号 2025年11月20日



P18 今回の表紙
「美味しいカボチャを全国へ」

- P 2 令和6年度 決算審査
- P 7 こんなことがきました
- P10 一般質問 5議員が登壇
- P13 追跡！あの一般質問どうなった？
- P19 モニターの疑問に答えます！
- P20 町民インタビュー聞かせて 放課後児童クラブ

未来を強くする

令和6年度の一般会計、3特別会計、企業会計の決算は、令和7年10月8日～9日の2日間にわたり、議長と議会選出監査委員を除く6名で構成された決算審査特別委員会（池澤委員長・酒向副委員長）で審議されました。採決の結果、各会計とも賛成多数で認定すべきものと決定しました。



令和6年度決算の詳しい内容は、12月5日配布の広報わつさをご覧ください

小・中学校エアコン設置
5,082万円



東山スキー場リフト改修
5,320万円



ふくしのまちづくり関連
7,737万円





議会の評価はコレだ！！

振り返りが

一般会計決算額 (1万円未満四捨五入)

歳入 48億3,013万円 (前年度対比 103%)

歳出 46億9,823万円 (前年度対比 103%)

町の貯金 (基金)
46億7,119万円

町の借金 (地方債)
40億5,156万円

決算の平均 **78** 点

中原
浩一
議員



行財政 に注目！

まちづくりが弱いと感じる。
基金は他町村から見て本町
規模では多く、将来につな
がる使い方を望む！

決算の平均 **59** 点

石田
利美
議員



行財政 に注目！

特別養護老人ホームの建替
えが進んでいるが、今後の
財政が心配だ。

決算の平均 **81** 点

酒向
勤
議員



社会福祉 に注目！

子ども・子育て・児童に関
する事業に向上が見られる。
ますますの拡充を。

決算の平均 **80** 点

窪田
裕一
議員



行財政 に注目！

ふるさと納税は6,000万円
以上を目標とすべき！町内
経済のためにも寄付額を増
やす対策を。

決算の平均 **78** 点

小野田
久美子
議員



行財政 に注目！

人口規模に見合った事務事
業の再構築など、財政の抜
本的な見直しで持続可能な
町へ。

決算の平均 **85** 点

村岡
敏一
議員



産業振興 に注目！

加工センター利用減による
整備意欲が衰退。トマトジ
ュース生産利用動向がカギ
か。

決算の平均 **77** 点

池澤
哲也
議員



産業振興 に注目！

災害による農地や農業用施
設の復旧は行ったが、将来
を見据えた農地基盤整備へ
の支援も検討すべき。

決算の平均 **83** 点

遠山
優太
議員



基盤整備 に注目！

誰もが安心できる除排雪事
業の更なる制度設計に期待。

税金も寄付も町民の安心へ

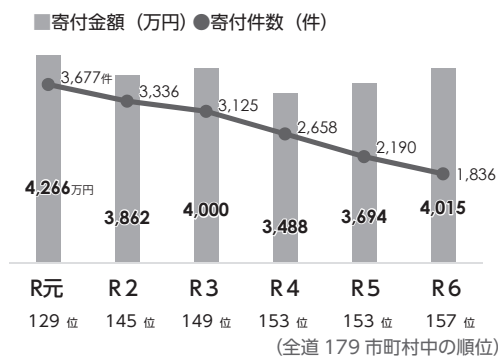
二 寄付額の大幅アップを!! 二

ふるさと納税

Q ふるさと納税は議会で先進地視察を行い、研究を重ねた。民間活用や専門部署設置など町へ提案してきたが、目標寄付金額を5000万円から4000万円に下方修正した。寄付金額は減少し、成果を上げられず物足りない結果となっているが、今後どのようなしていくのか。

**寄付金額低迷
全道で157位**

A 物価や人件費高騰により、昨年度は一部返礼品の値上げがあり、寄付件数が減少したものの寄付金額が上昇した。寄付金額を上げる努力や関係機関との連携を強めていく必要があると考えており、町内民間事業者の知恵も借りながら他自治体も参考に検討したい。



▲直近6年間の寄付金額と寄付件数の推移



返礼品(品目)ベスト5

1位	ジンギスカン
2位	米
3位	メロン
4位	秋野菜セット
5位	トマトジュース

▲昨年度は氷点の舞が急上昇

ふくしのまちづくり



▲職員研修を重ね町全体の福祉向上を目指す

Q 芳生苑・健康苑の職員が「ゆうゆう」の施設で研修しているが、現在の状況と今後の計画は。

A 「ゆうゆう」グループの施設への研修は、令和6年度1名、今年度は更に2名加わ

り計3名が障がい者(児)施設で研修中。
町内の既存施設等を活用しながら障害サービスの提供ができないか検討しており、新たな福祉施設完成予定までの残り約2年間で体制を整えていく考え。

芳生苑・健康苑

Q 今年度から芳生苑・健康苑の指定管理者を「ゆうゆう」に変更したが、状況は。

A 芳生苑入所者数は、令和7年3月末で47名だったが、10月1日時点では49名となっている。健康苑は一日平均14名で昨年度と同程度の利用状況。「ゆうゆう」になってから面会制限を解除し、職員の意識も「地域に開かれた施設へ」と高まってきている。

入所者の介助は一律ではなく、個人に合わせたケアプランの対応を進めている。

子育て支援の充実

こども誰でも通園制度

Q 来年度から国の「こども誰でも通園制度」が始まるが、保育所での受入れに問題はないか。

A 町の保育所は生後8か月からの受入れだが、この制度は「生後6か月からの利用」と法で定められているので、受入れ体制を整えていく。

保育所物品の一部負担

Q 今まで無料とされていたクレヨンなどが令和6年度から有料になったと保護者から聞いたが、町で負担できないか。

A 令和6年度から個人で使用する2歳児のカバー帽子と4歳児のクレヨンを負担いただいている。

保護者会等で「保育料が完全無償化だから物品の負担は当然」という意見が大半だった。保護者の方々に丁寧に説明したい。

きらっと・こども食堂



▲町内のボランティアが運営する「こども食堂」

Q 地域おこし協力隊が行っている子どもたちの第3の居場所「きらっと」や、ボランティアが行う「こども食堂」の利用者が増えることによって、新たな展開も期待できると思うが、連携の考えは。

A 地域おこし協力隊の藤井さんが「きらっと」を始める際、教育委員会としてできる部分は協力・連携していくと話しており、「こども食堂」に関しても同様に考えている。

安全安心に暮らせる体制

大通り商店街除排雪

Q 大通りの空き家や更地が増えているが、除排雪経費の個人負担は増えていないか。また、除雪費用が値上がりした場合、住んでいる方の費用負担は。

A 大通りの空き家等は町が費用を負担している。物価高騰により業者単価が上がっても、住んでいる方の負担が大きく変わらないよう実施している。

ヒグマ

Q 令和6年度のヒグマ出没件数と、出没情報をどのように町民へ周知しているのか。

A 出没通報11件のうち目撃6件、足跡等の痕跡5件。ひぐまつぶや防災無線（LINE含む）、看板設置のほか、



▲ひぐまつぶ 2025



▲公式LINE アカウント

か、直接近隣住民にお知らせしている。

リサイクルゴミ処理

Q 全国的にモバイルバッテリーの自然発火や爆発による火災が増えている。処理方法が分からず放置していることも考えられるが、本町における取扱い。

A 本町では危険ごみに分類され、町民センターとリサイクルセンターで拠点回収している。



▲町民センター1階の階段横にある拠点回収

※こども誰でも通園制度…保護者の就労状況に関わらず、0歳6か月から満3歳未満の未就園児が保育施設を時間単位で利用できる制度

補助金の有効活用で課題解決

自治会館エアコン設置補助



▲エアコンが設置された東山自治会館

Q 今年度、自治会活動推進交付金でエアコン設置に上限10万円を補助しているが、熱中症対策として積極的に自治会へ設置をお願いしていくのか。

A エアコンを設置したのは3自治会。未設置の自治会にはできる限り設置していただくよう、丁寧に説明したい。町施設を自治会館にしている自治会もあるため、空調設備の整備に向けしっかり検討する。

中小企業保証料・利子補助

Q 最近、金融機関も保証協会を付けた融資がほとんどで、中小企業補証融資保証料・利子補給補助は増加が予想される。情勢に合った形で事業を考えては。

A 商工業活性化融資利子補給補助は新規0件、中小企業補証融資保証料利子補給補助は新規11件と差がある。事業者はどれが安定有利に使えるか商工会と北星信用金庫と相談して決めるので、連携を深めて考えたい。

		中小企業補証融資保証料及び利子補給補助	商工業活性化融資利子補給補助
運転資金	補助金額	1,000万円	300万円
	償還期間	10年以内	4年以内
設備資金	補助金額	3,000万円	500万円
	償還期間	20年以内	5年以内
信用保証		必須	任意
利子		1.4%以内	2.4%以内

消費者生活センター

Q 1市3町（土別市・剣淵町・幌加内町・和寒町）で構成している消費者生活センターへの相談31件と、消費者教育2件の具体的な内容は。

A インターネット広告から誤って購入して届いた商品の受取拒否や、月契約の止め方等の相談がある。消費者教育は、消費者生活センター職員が小・中学校でスマートフォンでの課金の取扱いなどの講習会を行っている。

後期高齢者健診

Q 受診率49%は全道的に見るとどうか。町独自の取り組みは。

A 令和6年度の受診率では全道4位となっている。後期高齢者健診のほか、40歳〜74歳対象の特定健診や若年者の健診を集団健診の際に同時に受けられるよう設定している。年度当初に案内を送付し、電話や来庁時に声掛けをしている。

令和6年度決算 討論*

一般会計

反対 石田議員

ふくしのまちづくりで大きなお金が動くことや、民設民営での特養建替えについて町民は本当に理解しているのか。

賛成 窪田議員

一つ一つ細かく見れば様々な課題があるものの、建設的な決算委員会だった。ふくしのまちづくりが町民の理解を得られるよう、議員にも説明する責任がある。

介護保険特別会計

反対 石田議員

ふくしのまちづくりに関する建設費は、物価高騰によって今後も値上がりが見込まれ、町の財政が危惧される。

賛成 討論なし

※討論…他の議員を自分の意見に賛同させることを目的とする発言

ガラス屋根破損や暖房設備不良

経年劣化で図書館改修

9月
定例会

第3回定例会は9月17日・18日に開催しました。行政報告のあと、5人の議員が一般質問し条例改正や補正予算等の審議が行われ、全て原案のとおり可決しました。



▲様々なイベントが開催されている図書館の视听覚室



▲町立図書館は建設後から利用していて重宝しています

(西町 樋口 久子さん)

図書館改修

(1175万円)

建設から31年が経過した町立図書館の職員玄関上部のガラス屋根1枚が破損し、ほか3枚も破損の危険性が高いことから併せて撤去します。

また、地下水中ポンプと真空式温水ボイラー、床暖房熱交換器、温水系統弁は異常が発生したため取替・交換工事をします。

職員の育児休業条例改正

地方公務員の育児休業等に関する条例を一部改正し、育児と勤務を両立しながら働き続けるために、休暇を取得しやすくします。

Q 男性職員の育児休暇取得状況は。

A 令和6年度の取得率は25%となっている。

条例改正に関わらず、働きやすい職場、休暇を取得しても子育てしやすい環境を整えていかなければならない。

教育委員の任命

(任期4年)



さとう かなえ 氏 (大成)

固定資産評価審査委員の選任

(任期3年)



ふじい としひろ 氏 (三和)

令和7年度 補正予算一覧表 (1万円未満切捨て表記)

一般会計	補正額	補正後の額
	2億3,934万円	50億4,251万円
総務費	2億946万円	公共施設建設基金積立金・地域福祉基金積立金ほか
民生費	1,093万円	定額減税調整給付金ほか
衛生費	478万円	簡易水道事業会計繰出金収益の収支分ほか
農林業費	240万円	水利施設管理強化事業補助
教育費	1,175万円	図書館ボイラー改修工事ほか
介護保険事業勘定	1,040万円	5億7,974万円 前年度介護給付費負担金返還ほか
簡易水道事業	476万円	1億6,205万円 水道施設修繕ほか

町長・副町長の給料減額

町有不動産売却の不手際で損害与える

給料減額条例（1か月）

町長 給与10%減額
副町長 給与5%減額

令和5年、6年に防雪センタ
ー付近の町有不動産7件を約7
00万円で売却しました。

今年6月2日、そのうちの1
件で町が引渡し前物件の保守を
怠ったので水道管が破裂、修繕
が発生し購入者の入居が遅れた
と議員から指摘がありました。

7月24日、町の報告で担当職
員が売却した町有地7件の登記
を怠ったことが発覚し、町に本
来収入となる固定資産税が入ら
なくなり、町財政の損失が発生
しました。

副町長は「職員を管理・監督・
指導する立場の者が、業務や職
員の状況を把握できず、組織機
能が不十分だったことが最大の
原因。今後職員の適切な業務執
行への意識を徹底し、町行政へ

の信頼回復に取り組む」と述べ
ました。

町長は7万1千円、副町長は
2万9千円を10月給与で減額し
ます。

町の損害額 135 万円

（1万円未満切捨て）

収入	移転登記を怠ったため徴収できなかった固定資産税	▲16万円
支出	引渡しまでに適正管理しなかった物件の修繕費	110万円
	上記購入者の入居が修繕終了まで延期になったため町の負担となった住宅料6か月分	9万円

賛成4人 反対3人 僅差で可決

討 論

反対



遠山議員

2年前と同じく対応遅延が原因の事案で発生した際にも減額しており、繰り返し対応である。町民が責任の取り方を疑問に感じる可能性がある。信頼回復にはつながらない。一時的な減額ではなく、原因を明らかにして再発防止の確かな仕組みを作り、説明責任を果たすべきではない。

賛成



窪田議員

マイナスイメージがつきまとうものであるが、金額の問題ではなく、組織をもつ一度作り直す必要がある。この案件を肝に銘じて前に進んでほしい。

反対



小野田議員

令和4年の延寿共益費の件、令和5年の旧中和小学校移転の件に続き、4年間で3回目というもあり、再発防止策や対応が本当にできるのか不安。町民は物価高騰で生活が大変でも水道料金や国保税などをしっかりと納めている中、事務不手際で町の財産が失われることを受け止めて対応いただきたい。

賛成



池澤議員

町長、副町長から反省の弁を聞き、今回の件を相当反省していると感じた。今後、再発防止を十分に徹底いただけると思い賛成する。

効果的な運用を図るため各種基金を見直し

ふくしのまちづくり事業の推進、また将来に向けて公共施設の整備や整理する財源を確保するため、健全財政の堅持を最優先に基金を整理統合し、効果的な運用を図ります。

	基金名称	基金概要	令和6年度末基金残高 (1万円未満切捨て)
廃止	家畜導入基金	平成8年以降の活用実績がなく、今後も活用が見込めないため廃止。基金は地域福祉基金に積み立て、地域福祉事業支援に活用。	6,400万円
	土地開発基金	公共用の土地をあらかじめ取得する必要がある場合に積み立てられた基金で、これまで活用実績がなく、今後も活用が見込めないため廃止。基金は公共施設建設基金に積み立て、必要な施設整備の費用に活用。	1億4,468万円
改正	公共施設建設基金 ↓ 公共施設整備基金	公共的施設を整備する社会福祉法人等に対し、その費用の支援や、使用しなくなった施設の除却費用の財源にすることも含め、条例の名称含めて改正。	9億8,377万円
	地域福祉基金	民間が地域福祉の推進を行う事業経費の財源に、積み立て分も充当できるように条例を改正。	1億5,493万円
	総合体育施設建設基金 ↓ 総合体育施設整備基金	施設建設のほかに、改修や除却を含めた整備費用の財源に充当できるように条例の名称も含め改正。	3億3,259万円

各種基金（20本） 令和7年5月末残高 39億3,004万円
(前年比△1,768万円)

賛成

酒向議員
公社を解散することによってその財産を有効利用できるようになるので、活用されていないものを整理するのは大切なこと。

反対
討論なし

財 産 (1万円未満切捨て)	
普通預金	45万円
定期預金	8,190万円
未完成土地	293万円
合 計	8,529万円

(令和6年度末時点)

土地開発公社の解散
和寒町土地開発公社は昭和48年5月に設立されましたが、公共事業減少や近年の社会状況の影響から、公社が土地を先行取得する見込みがないため解散することを可決しました。
北海道への認可申請などの手続き完了後、町へ出資金300万円を返還し、残余財産は町へ引継がれます。

令和8年1月17日は町長選挙にともなう

町議会議員補欠選挙 (欠員1名)

あなたの想いを町政へ活かすため立候補しませんか

令和7年12月10日 立候補予定者説明会

議会の仕事 詳しくはこちら【議会白書】



意見書

国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書

提出者 酒向 勤

意見書は可決し、関係行政省庁に提出しました。
詳細は和寒町ホームページをご覧ください。



一般質問 町政を問う。

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり執行機関（町長・教育長）に疑問点をただし、所信の表明を求めます。まちづくりの指針でもある総合計画の、どの項目に対して質問をしているのか一覧表にしました。

あみかけ 項目を要約して掲載します。



質問議員	第6次総合計画		質問事項
	項目	ページ	
小野田 久美子 議員	行財政	86	熱中症予防の対応と公共施設へエアコンの設置は ふくしのまちづくりに沿った、みんなにやさしい ＪＲ和寒駅の水洗トイレ改修を
	行財政	86	
遠 山 優 太 議員	雪対策	72	除排雪体制の充実に向けた考えは 木質バイオマス事業の方針は
	林業	45	
窪 田 裕 二 議員	—	—	4期目に向けての町長の考えは
池 澤 哲 也 議員	まちづくり	88	和寒町観光大使制度の創設と任命は 持続可能な農業に向けた農地整備の取り組みは
	農業	40	
酒 向 勤 議員	道路網整備	71	道路の維持管理は 塩狩峠、峠記念館、夫婦岩の今後は
	観光	50	

各自治会で開催した町政懇談会などで「町民センター、役場庁舎、職員の勤務場所にエアコンの設置を検討しては」と多くの方から話があった。役場事務所へのエアコン設置は、大規模な工事と予算が必要になり、財源の確保も見込めないのが慎重に検討している。公民館の事務所で、窓に排熱用ダクトを設置するスポットクーラーを試験的に導入し、一定程度効果のあることが分かったので、当面は、これらの機種の導入も含めて検討したい。

奥山町長

気候変動の影響で、北海道の夏は蒸し暑さが増している。町民センターや公民館、町の行政サービスを行う役場庁舎や指定管理者の事務所へエアコンを設置しては。



小野田久美子 議員



問 答

熱中症予防と公共施設のエアコンは

スポットクーラーの導入等検討する

○再質問

研修館楡は、スポットクーラーで対応したいとの話だが、リサイクルセンターや農業活性化センターの作業場などにもエアコンやスポットクーラーを設置しては。

奥山町長

今後も夏の高温状況は悪化することを念頭に置き、しっかりと受け止めたい。



▲試験導入しているスポットクーラー（左側）

とおやま
ゆうた
議員



問
除雪体制の充実に
向けた考えは

答
今後に必要な予算
を確保していく

建設課長

必要経費を確保した委託料の
算出を行っている。

○再質問

近年、事故保険や労災保険が
高騰している。委託料の増額や
町独自の補助が必要では。

建設課長

適正な保険料計上に努める。



▲道幅を広く丁寧にいう除排雪作業の様子

くぼた
ゆうじ
議員



問
4期目に向けての
町長の考えは

答
年内には表明か？

令和8年1月12日告示で任期
満了に伴う和寒町長選挙が控え
ている。

3期目「住んで良かった、住
み続けたいと思う魅力あるまち
へ」をスローガンにかじ取りを
されてきた。

特に3期目は、特養建替えも
公約に掲げ議会と共に進んでき
たが、今年に入り、住民の理解
が得られていないとのこと。中
止ともとれる署名運動があった。
今回の選挙の注目度は大きく、
町政懇談会でも出馬をお願いす
る声も上がっている中、どのよ
うな考えか。

奥山町長

今、定例会において、自分自
身の処分条例も出していること
から、定例会での立候補表明は
適切ではないと考える。
今後も、本町にとってふくし

○再質問

遅くともいつまで表明か。

奥山町長

質問や意見はしっかり受け止
め、年内には明らかにする。



▲定例会で答弁をする奥山町長

池澤 哲也 議員



問

和寒町観光大使制度の創設と任命は

答

わっさむ応援特使の見直し含め検討

本町出身で吉本興業（株）所属芸人あとむさんの配信するショート動画が全国的に大きな注目を集めており、本町の魅力を発信できる逸材と考えるが。

奥山町長

平成25年に本町出身者2名（山中俊幸氏、杉澤洋輝氏）に「わっさむ応援特使」として委嘱しているが、ボランティアのため特使の増員や事業展開に限界を抱えたまま現在に至っている。「あとむ」さんについては以前、東京ふるさと和寒会でコントを披露していただきお会いしたが、現在の活躍は関西在住の知人から動画が送られてきて、初めて全国的に注目を集めていることを知った。

今後、ご本人に接触し、和寒町に関係する情報の発信者として役割を担っていただけるよう

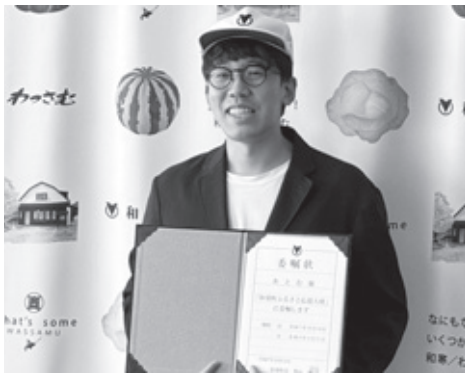
「わっさむ応援特使」の見直しを含めて検討する。

○再質問

新たな制度の内容は。

辻副町長

多くの自治体では、報酬は無報酬で必要経費などについては要綱要領を設けている。他の町の情報を含め検討する。



▲今注目を集めている芸人「あとむ」さん

酒向 勤 議員



問

道路の維持管理は

答

年次計画はあるがその都度対応

町道が横に割れており雑草が生え、冬期にますますひどくなっているのが心配だが、計画的に補修しているのか。

奥山町長

町道198路線、延べ延長190.3キロメートルを管理している。担当職員が2、3か月に1回定期的に目視確認している。交通量が多い2号、4号、7号、8号などは大雨災害時や融雪期にも確認している。

担当者だけでは把握しきれないので町民の方からの電話や町政懇談会などの情報で確認し補修をしている。

○再質問

町道が一番大事なインフラだが、広範囲に修繕場所があるときの予算措置は。



▲割れた道路に繁茂する雑草

計画はあるが、諸経費が高騰しているので現状の先を見た計画が必要。

奥山町長

道道に関しても雑草の繁茂により事故が起こりやすいなど、道道の維持管理に関して隣の剣淵町長と、必要なタイミングに両町で要望していきたい。

追跡! あの一一般質問 どうなった?

令和6年発行(第114号から第117号)の議会だよりに掲載された一般質問が、その後町政にどう反映されたのか、質問した議員が追跡調査を行いました。



▲議会だより114号
(2024年2月発行)



▲議会だより115号
(2024年5月発行)



▲議会だより116号
(2024年8月発行)



▲議会だより117号
(2024年12月発行)



雪対策

遠山 優太 議員

2024年8月発行
フットサム116号 掲載

問 除雪体制の充実に向けた考えは

受託業者への委託料は、過去10年間の除雪機械稼働時間の平均値から算出しているが、実際の稼働とは乖離が生じている。

近年、人件費や物価高騰、除排雪事業が抱える課題と受託業者の経営の安定を含めて、設計単価等の契約形態などの見直しを検討するべきでは。

答 受託業者とより連携を図る

事業の継続性を担保する上で、受託業者の意見が最も重要と考えている。

受託環境や体制整備に向けて、他の自治体の取り組みなども参考にしながら検討を進めていきたい。

追跡

契約方式に スライド制を導入

令和6年度より従来の契約方式に加えて、実際の稼働時間数に対する委託料の増減を一定程度反映できるようにスライド制の導入を行った。

これは、設計時間の上限と下限の20%を超えた分について柔軟に契約金額を変更できるようにしたもので、今後も受託業者と話し合いを重ね持続可能な体制の確保に向けた対応に努めていきたい。



▲本町の最重要インフラである除排雪事業



農業・防災

池澤 哲也 議員

2024年12月発行
ワットサム117号 掲載

問 大雨による農業被害への対策は

令和6年7月の大雨で、多くの農地が冠水し農作物への被害が発生したが、短時間に想定を超える雨量により、河川が急激に増水した場合の樋門管理の現状と課題、対策は。

答 樋門関係者と問題点を共有し対応

急激な河川の増水でこれまで操作を必要としなかった樋門でも農地の浸水が発生した。

今後の対策として、複数人で迅速に巡回できる体制づくりや、委託業者と樋門の地先が連携して適切なタイミングで樋門操作をするなど、具体的な対応策を検討している。

研修会等を通して問題点を共有し対応する。

追跡

樋門管理講習会で 河川担当者と意見交換

令和7年2月に町主催の樋門管理講習会を開催し、北海道河川管理担当者と町内樋門管理者との意見交換を実施。

7月の大雨で問題となった樋門管理の課題を、地先農業者などが道担当者に直接訴え改善を求めた。

道は、試験的に町内樋門14基を直接管理することとし、地元の負担軽減を含め樋門管理の徹底を図っていく旨説明があった。



▲大雨時には適切な操作が重要となる樋門



農業

村岡 敏一 議員

2024年8月発行
ワットサム116号 掲載

問 農地の生産基盤整備の今後は

暗渠排水工事支援事業の現状と次期への計画内容、畑地化が進んだことによる基盤整備や大区画化整備の考えは。

令和3年に制度変更された中山間事業において共同取組として暗渠の自己施工・請負施工に取り組んでおり、これから国の動向を注視しながら支援していく。

大区画化整備は、事業を検討する段階から土地所有者間との調整等、地元期成会の役割が極めて大きいことから農業者の声を聞く機会をつくり関係機関と連携して支援していく。

追跡

農業者の声を 丁寧に伺い支援

中山間事業は、令和7年度から令和11年度の5年間を計画期間とした第6期対策が始まっている。農業者で構成された「中山間わっさお集落」により共同取組活動の内容を協議しており、基盤整備事業として暗渠排水の自己施工・請負施工の支援を拡充している。

農地整備は各農業者へ、これからの必要な整備手法と各種事業制度について理解を深められるよう、関係機関と連携して説明会の開催を計画し、支援に努めていく。



▲暗渠排水は作物の健康を守る整備事業



児童福祉・社会教育

小野田 久美子 議員

2024年5月発行
ワットサム115号 掲載

問 安心して子育てできる環境整備は

高齢化率46%の本町の出生数は5人（令和5年度）。

加速度的な少子化、人口減少を食い止めるため、若い子育て世帯のニーズにあった対策を早急に講じては。

答 令和7年度の子ども・子育て支援事業計画の策定に向けて、こども誰でも通園制度や現行の一時保育事業のあり方、ファミリーサポート、放課後児童クラブでのおやつ提供についてもアンケートを実施する。

子どもの居場所である図書館を祝日や年末年始に開館することに関して、教育委員会としては町と相談する。

追跡

放課後児童クラブで おやつの提供開始

令和6年9月に実施した子育てに関するアンケートの意見を受けて、令和7年3月子ども・子育て支援事業計画を策定した。

アンケートで74%利用希望があった放課後児童クラブでのおやつ提供は、保育所で作り今年6月から有料で開始した。

子どもの居場所でもある図書館の祝日、年末年始開館は、運営も含め検討を進める。



▲保育所で作ったおやつ。おかわりする子も



高齢者福祉

窪田 裕二 議員

2024年8月発行
ワットサム116号 掲載

問 ふくしのまちを核としたPR戦略の考えは

福祉施設建替えに伴い、和寒町と民間企業がタッグを組む形で施設建設だけでなく、まちづくりの観点から創り出す計画は、全国を見ても前例がない取り組みだと感じる。

今後、行政視察やマスメディアの取材など本町が注目されると予測するが、PRや対策はどのように考えているか。

答 モデルケースとしてPRしていく

ふくしのまちづくり基本構想を成功させることで、まちづくりのモデルケースとして全国から注目を集め、交流人口や関係人口が増えると考えている。積極的に報道していただき人を呼び込むことにつながるものと考えている。

追跡

積極的に情報発信

ふくしのまちづくりの取り組みについては、広報誌やホームページ、新聞等を活用し情報の発信に努めているほか、上川北部の民生委員児童委員や障がい者相談員、上川地区社協のセミナーなどで報告されている。

特養の再整備を検討する自治体の行政視察もあり、小規模自治体のモデルケースとして注目を集めてきていることから、今後も積極的な情報発信が求められる。



▲10月町民サミットで公開された設計案模型



高齢者福祉

酒向 勤 議員

2024年12月発行
ワットサム117号 掲載

問 特養建替えの償還計画は

ふくしのまちづくり基本構想の中核施設に多額の資金が掛かり、償還に関して心配する声があるが。

答 総事業費が確定した段階で示したい

実施設計が決まらなると細かな数字は出ない。

補助金のほか基金（貯金）と起債（借金）を活用する。

有利な起債として過疎債がある償還期限は12年金利0.8パーセントで後から交付税で7割補填される。

過疎債について上川総合振興局と協議を進めているができるだけ有利な起債を使う。

追跡

基金条例の 廃止や一部改正

今年9月の定例会で、基金を有効利用するため公共施設建設基金条例の一部改正と、利用されていない土地開発基金条例や家畜導入基金条例を廃止した。

地域福祉基金条例は、事業費の財源として使えるように一部を改正した。

町長が過疎債に関して上京して陳情に行き、上川総合振興局管内の割当てを増やすよう要望している。



▲町立診療所と薬局の間の道路から見る予定地



農業

石田 利美 議員

2024年8月発行
ワットサム116号 掲載

問 鳥獣被害対策の見直しは

猟友会がエゾシカ・ヒグマの駆除や巡回パトロール、檻の設置など農業被害防止の一役を担っているが、今後の鳥獣被害対策の見直しは。

答 現在、巡回パトロールは無報酬

平成24年に定めた鳥獣被害対策実施設置規則に基づき、猟友会に委託し、主に農業被害を防ぐためのエゾシカ駆除、ヒグマの出没情報があつたときは巡回パトロールをお願いしているが、規則に基づき無報酬となっている。

追跡

令和7年度に 活動補助に予算化

令和7年度よりヒグマ出没により町から要請されて行うパトロールや箱わな設置に伴う活動補助が増額予算化された。

①パトロール等の活動補助に1時間当たり3千円で36時間分の10万円の新規増額予算。

②箱わな設置1回は定額5万円の増額予算。

猟友会には、町民の安心・安全・農業被害の減少のために今後も取り組んでいただきたい。



▲町で保有するヒグマ捕獲用の檻

公営住宅の実態把握

空き戸数125戸 入居率78%



▲空室が多い公営住宅の有効活用は待ったなし！

家賃収入減で維持費増

近年、全国各地で公営住宅の老朽化や新たな入居者の減少による空室増加が目立ち、和寒町でも大きな課題となっています。本町の公営住宅の状況（令和7年9月末現在）は、管理戸数370戸、入居戸数244戸、空き戸数のうち募集停止が58戸、募集中が68戸です。



▲旧三和牧場では植林の状況を調査

10月9日、公営住宅等の空室実態調査のため、ジユネスハウスII、かたくり荘、あかしや団地、ふれ愛の里、もみじ団地を視察しました。
今後、他の自治体等による公営住宅空室の状況などを調査し、本町の財産である公営住宅を有効活用できるよう研究します。
国有地にある旧三和牧場の植林状況、若草4条通りバリアフリー化、若草団地解体、大通りの歩道舗装改修も確認しました。

温暖化により新たな害虫発生が

農作物生育状況調査



▲農業委員会、町関係者、JA等と調査

8月21日、町内農作物の生育調査を行いました。
今年は大雨による農作物の被害は少ないですが、温暖化の影響か、今まで北海道にいなかった虫が発生し、カメムシなどの食害もあるようです。
今年も五穀豊穡の秋となりますよう祈願します。

議会の課題を活発に意見交換

愛別町議会 視察調査



▲今後も他の議会と意見交換などを重ねます

8月7日、愛別町議会議会改革等特別委員会が来町され、本町議会の議会改革・活性化の取り組みについて視察を受けました。
議員のなり手不足、議員報酬、議員定数、議会広報、タブレット導入など多岐にわたり、活発な意見交換をしました。

Topic 議会

わかりやすい議会だ
よりを目指して研修



▲効果的な「広報の手法」を学びました

8月19日、ポールスター札幌で行われた北海道町村議会主催の広報研修会に参加しました。

「議会の見える化&住民との信頼築く議会広報の基本と編集」の講演がありました。

今後も、議会を身近に感じ、わかりやすく、興味を持てる誌面づくりに努めます。

課題解決を目指し
3町議会で見意見交換

8月28日、剣淵町で3町議会(剣淵町・幌加内町・和寒町)議員研修会を開催しました。

旭川市立大学経済学部経営経済学科黒川伸一教授による「黒川ゼミにおけるまちづくりの取り組み」の講義を受けました。

その後、議員間の意見交換会がありました。

今後も近隣自治体の発展のため、合同議員研修や意見交換会を行っていきます。



▲鷹栖町で実施した、まちづくりの説明がありました

ハラスメント根絶！
風通しの良い議会へ



▲ハラスメントの動画を視聴

9月18日、議会のハラスメント防止目的で札幌学院大学吉田博非常勤講師による「議会活動におけるハラスメントへの対応」の動画を視聴しました。

議員同士は対等な立場であることを肝に銘じながら、開かれた議会を目指し、人権侵害にも当たるハラスメントの根絶に向けて今後も研修していきます。

今回の表紙

今回の表紙は三笠在住、西和で農業を営む関敦志さんのかぼちゃ選果の様子です。

9月下旬から11月中旬までほぼ毎日、かぼちゃの出荷作業が続くと話す敦志さん。

敦志さんのいとこで、神奈川県横浜市から10年前に移住され、敦志さんの農場で働く関達也さんにもお話を伺いました。

「都会の人混みの中で働くより自然と広大な土地で働く農業の方が性に合っている」と思い移住しました。農業は肉体的に大変なところもありますが、和寒に来てから空気も食べ物とても美味しく感じています」と笑顔でお話して下さいました。





▲アクハマド・コリドさん、リサルト・デビヤント・クサリさん、サムディ・ダルマワンさん

町内では農業・建設・教育・介護などの現場で外国人の方が活躍されています。
(株)近藤組で働くインドネシア出身のサムディさん、クサリさん、コリドさんは、土木と舗装の仕事を交互に経験しながら、日々新しいことを学んでいます。

「仕事はとても楽しいです。会社の人たちはみんな優しく、つらかったことや休みだいたいと思っただけでもありません」と笑顔で話してくれました。

職場では、日本語の勉強にとダジャレをよく教わっていると微笑みます。

休日は掃除や洗濯、勉強、買い物をして過ごすという几帳面な一面も。初めて見た雪の美しさには感動したそうです。

将来の夢は「結婚したい。」「貯金をしてインドネシアに家を建てたい。」「ずっと日本で過ごしたい。」「とそれぞれ語ります。

慣れない土地でも前向きに頑張る姿は、地域に元気と温かさを与えてくれています。

モニターの疑問に答えます！

Q 町内で働く外国人を紹介して！

A 建設現場で活躍する3人の若者をご紹介



一般質問「宿泊機能再編の考え」は私も気になっていました。宿泊施設の利用者が多いようなので、うまく空き家等を有効活用させてほしいと思います。

町長は「既存施設の有効活用を検討する」と回答しています。
常任委員会でも公営住宅等の空室実態調査(P. 17掲載)をするなど、今後も研究を重ねていきます。



議会傍聴はハードルが高いため、YouTube(ユーチューブ)で好きなときに気楽に観られて良いですね。

議会ではYouTubeに一般質問の動画を配信しています。一般質問の内容は、誌面の都合上全てを掲載できませんので、興味のある内容がありましたらぜひご覧ください。

議会 (YouTube)
チャンネル



町内で今起きている動きについて情報満載でした。誌面に載ると何度も読み返すことができますね。

広報委員会は「パツと伝わる広報誌」を目指し、正確な情報をわかりやすく届けられるよう努めています。町ホームページに過去の議会だよりも掲載していますのでご覧ください。

和寒町ホームページ



議会広報モニターの声

議会だより120号
令和7年8月発行



アンケート
回答内容





9月25日、こども館で放課後児童クラブを利用している子どもたちにインタビューをしました。



職員の方に

利用人数は？

今年度の登録者数は48名で、一日当たり25名ほどが利用しており、近年3～4年生の利用が増えました。

広場の子どもたちに

集団遊びって何？

ここに来たら、友達と自由遊びが多いけど、毎回、広場の中の子どもたち全員で鬼ごっこことかをする時間があるよ。汗だくになって逃げても、すぐつかまっちゃうけどね。天気の良いときは外遊びも楽しい。

一輪車上手だね！

ここに来て、乗れるようになったけど、友だちにぶつからないように乗るのが難しい。



工作中の子どもたちに

何を作っているの？

モールでクモを作ったハロウィンの飾るの。先生が優しく教えてくれるし、色んなもの作ったり、でっかいオセロで遊んだり、おもちゃがたくさん有るから楽しい。



お迎えの保護者に

子どもたち元気ですね。

この中では体を動かしたり工作したり、色んなことができて良いですね。今年度から送迎バスを利用できるようになって、親として安心です。

数日後・・・



10月1日、さつまいもを収穫したよ。今度みんなでスイートポテトを作るんだ。ほかに収穫体験で、じゃがいも掘りなどしているよ。

取材を通して

放課後、友達の家遊びに行くことが難しい昨今、この施設は最適な居場所と感じました。集団遊びを取り入れ、異年代との遊びはその後の社会に好影響を与えるでしょうね。

議会傍聴のご案内

定例会の予定
12月15日(月)・16日(火)
みなさまのお越しをお待ちしています

9月定例会の傍聴者
5名

広報委員の一言

12月7日(日)開催の全町ミニバレー大会は、今年でついに40回の節目を迎えます。長い年月の中で、世代を超えて多くの町民に親しまれ、地域の絆を育んできた歴史ある行事です。

小さなボールを追いかけ、大きな笑い声が体育館に響く光景は、この町の元気そのもの。勝敗以上に大切なのは、仲間との声掛けや励まし合いから生まれる一体感です。40年の伝統に心からの感謝と敬意を表し、これからも笑顔あふれる大会を続けていきたいと思います。(優太)